## ミヤギタケオさん
## ペタルアート作品の寄贈

▲ペタルアート寄贈時のミヤギタケオさん（左）

題　名
穏景桜島
ー垂水からー

１月 22 日（月）、海潟地区でペタルアートギャラリーを主宰するミヤギタケオさんが作品を寄贈するため、市長室を訪れました。ペタルアートはミヤギさん自身が生み出したアートで、ペタルアートのペタル（Petal）は英語で花びらを意味し、ひとつひとつの花びらを本に挟み、５年以上の時間をかけて自然乾燥させたものを使用します。制作期間約１か月をかけて 100 枚以上の花びらが使用されている今回の作品「穏景桜島―垂水から―」は、この日のために作成されたもので、春先の穏やかな日を表現されたそうです。花びらの優しい色合いで心温まる作品の寄贈、誠にありがとうございます。

## 鹿児島県ＬＰガス協会
## 境小で親子料理教室

１月 21 日（日）、一般社団法人 LP ガス協会大隅支部による親子料理教室が境小学校で開催されました。この取組は、子供たちへの火育（火の教育）と食育を目的に毎年行われているものです。当日は児童と保護者 24 人が参加し、同組合より境小学校へ寄贈された新しいガスコンロで、ピザ、ピラフ等を作りました。今回取組の代表の有限会社錦江ガス森隆治さんは「火の手軽さと火の怖さを知って、子どもたちに上手に火を使ってほしいです」と話されました。



## 図書館講座
## 第六垂水丸遭難を語り継ぐ

２月３日（土）、図書館講座が「第六垂水丸遭難と戦争体験」をテーマに垂水市立図書館で開催されました。これは、昭和 19 年２月６日に起きた、日本海難史上２番目の海難事故といわれる第六垂水丸の転覆事故と戦時中の悲惨さを後世に語り継ぐことを目的に毎年行われているものです。当日は、事故の様子や、戦争体験記の朗読なども行われ、参加者の方々は熱心に聞き入っていました。寿小学校１年の黒田和見さんは、「悲しい事故があったことを始めて知り、泣きそうになりました」と話していました。

## 火災から文化財を守る
## 文化財防火デー

１月 26 日（金）、文化財防火デーの日に、垂水市市民館にある和田英作の使用した画室で防火訓練が行われました。文化財防火デーは、昭和 24 年１月 26 日に奈良県法隆寺金堂の壁画が焼失したことを教訓に、貴重な文化財を火災から守るため、昭和 30 年に定められたもので、全国で文化財防火運動が行われています。当日は初期消火訓練、通報訓練、消防車による放水訓練の後、消防隊員と垂水市文化財保護審議会委員から文化財等の防火についての説明もあり、防火意識の向上が図られました。

## 第４回たるみず
## 吹奏楽フェスタ

２月 11 日（日）、第４回たるみず吹奏楽フェスタが垂水市文化会館で開催されました。これは、垂水市の音楽活動を盛り上げたいという思いから、垂水吹奏楽団が主催しているものです。当日は、同吹奏楽団をはじめ、市内の小・中・高校の吹奏楽部、合唱団の５つの団体が参加し、音楽を楽しむ和やかな時間となりました。また、フィナーレでは、全参加団体により本市出身である瀬戸口藤吉翁の「軍艦行進曲」が演奏され、350 人を超える来場者を魅了しました。